■第１回チューモクの森づくり活動報告

１．活動概要

日　　時　・平成 28 年 5 月 21 日（土）13：45～16：00　天候：晴れ
場　　所　・南砺市土山六斗牧山地内（約 3.5ha、社有林）
参 加 者　・65 名（チューモク社員）
作業概要　・チューモクの森散策（森の解説）
・下草刈り、林床整備（使用機材：草刈り大鎌、草刈鎌、刈払機）
・間伐伐倒、枝打ちデモンストレーション実演

〔全体集合写真〕

○Before 活動前（2012 年 4 月）

○After 活動後（今回 2016 年 5 月 21 日）

２．地元新聞社記事

社有林を「地域の森」に

南砺・チューモク 社員が下草刈り 市民へ開放計画

総合建設業のチューモク（南砺市田中・福光、澤田喜朗社長）は21日、同市土山（同）の社有林で「地域の森づくり活動」をスタートさせ、社員約65人が下草刈りに汗を流した。林は今後、体験活動を通し、森林の公益的な機能を学んでもらう場として開放する計画で広く参加を募って保全への意識を高めてもらう。

社有林「チューモクの森」を地域の森づくりのモデル地区にしようと下草刈りに励む社員

山林の樹木伐採や材木の製材・加工を手掛けるチューモクは「循環型の木材産業」を事業方針とし、山林の保全活動や木材加工の際に出る木くずを肥料にする事業に取り組んでいる。1997年の創立50周年には土山の社有林3・5㌶に社員がタテヤマスギなどの苗木を植樹した。

植樹から19年が経過しスギがある程度成長したことから、社員が積極的に森に入り、木や森への理解を深めるとともに一般市民にも保全の大切さを学んでもらう場にしようと声が上がり、地域の森づくりに取り組むことにした。

当面は社員が中心となり、下草刈りや枝打ちを行う。環境が整い次第、一般市民に草刈りやシイタケの栽培などを体験してもらうほか、地元の学校に教育の場として提供することも検討している。

21日は社員が4エリアに分かれ、下草や小笹などを刈り取った。澤田社長（68）は「住民や顧客らを交え、地域の森づくり活動を行うモデル地区になるよう継続的に活動していきたい」と話した。

〔H280522.北日本新聞〕

枝打ち作業に励む社員
＝南砺市土山

森保全に社員70人汗 南砺でチューモク

総合建設業・チューモク（南砺市）のチューモクの森づくり活動は21日、同市土山の現地で行われ、社員約70人が森林の保全に汗を流した。

チューモクの森は1997年、社有地約3・5㌶に設けられ、これまで間伐などは県西部深林組合が委託管理していた。設置後20年が経過したのを機に社員も間伐や下草刈りなど整備に参加することにした。今後、地元住民や顧客らとともに作業に励み、環境教育の場や森林浴など地域の森づくりのモデル地区にしたい考えだ。

澤田喜朗社長が「循環型木材産業の社員として森林への理解を深めてほしい」とあいさつ、社員らは4地区に分かれ、下草刈りや間伐材の処理、枝打ちなどの作業に励んだ。

〔H280522.富山新聞〕

３．活動風景

・活動開会あいさつ（澤田社長より）

・澤田社長あいさつ

・森林散策と解説

・作業内容、使用道具の説明

・活動風景①

・活動風景②：刈払機部隊準備

・活動風景③

・活動風景④

・活動風景⑤

・活動風景⑥

・活動風景⑦

・林内散策路整備（一部整備）

・枝打ちデモンストレーション

・間伐伐倒デモンストレーション

・デモンストレーション実演見学

・活動終了「お疲れ様でした」